



Professional Mixing Controller

PMC-15MKII

取扱説明書

〒154-0011

東京都世田谷区上馬 2-37-1

電話 03-3412-7011 ファックス 03-3412-7013

Printed in JAPAN

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。



警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜け

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



分解禁止

- ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



指を挟まれないよう注意

- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警告



電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意



電源プラグをコンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

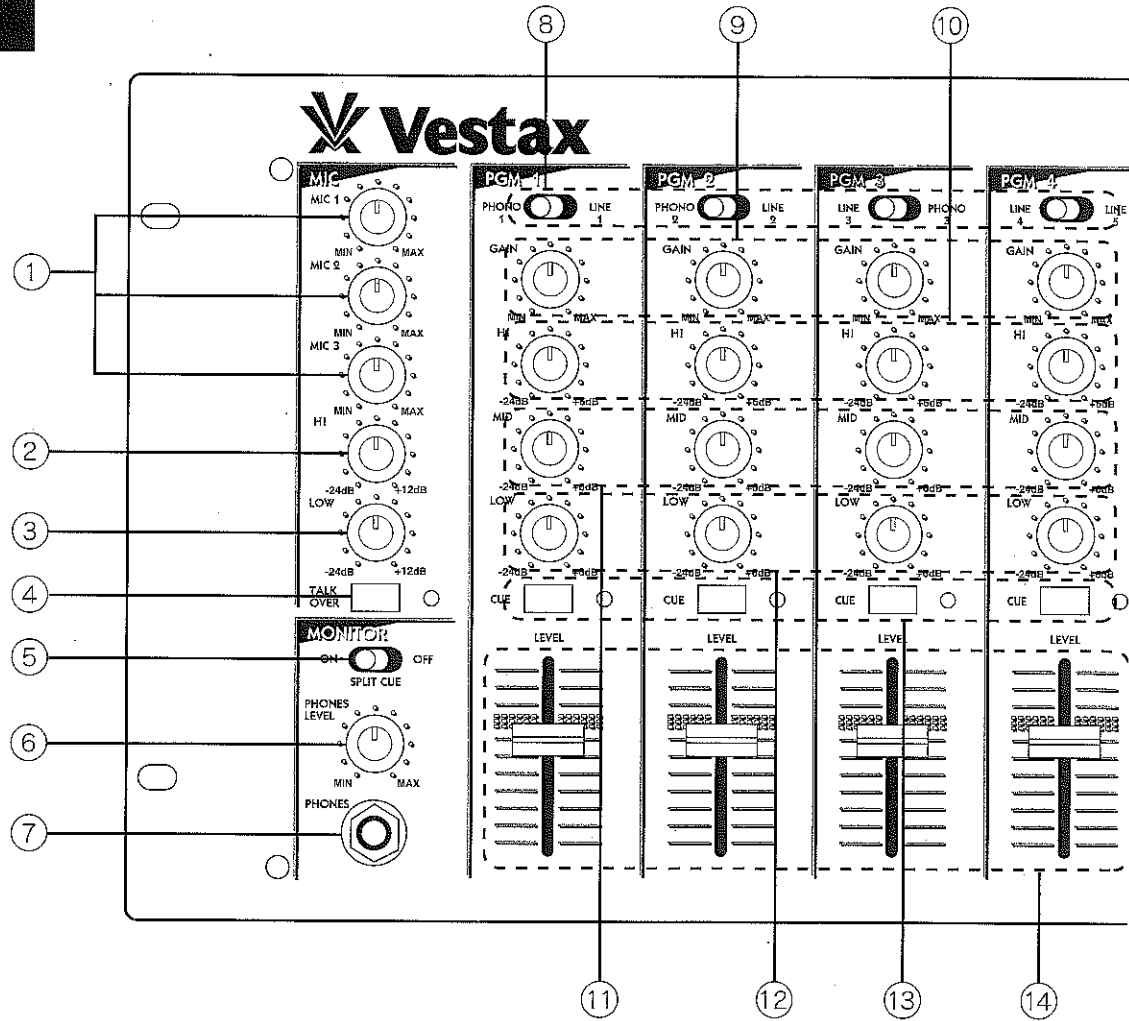


- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けしないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

FRONT PANEL



1. MIC INPUT LEVEL (マイク入力レベル調整ボリューム)

リアパネルにあるMIC INPUT JACK(37)に接続されたマイクの入力レベルを調整します。

2. MIC-EQ-HI (マイク用高音補正ボリューム)

マイク用の高音補正用マイクです。10kHz以上を最大6dBブースト又は、カット出来ます。

3. MIC-EQ-LOW (マイク用低音補正ボリューム)

マイク用の低音補正用ノブです。100Hz以下を最大6dBブースト又は、カット出来ます。

4. TALK OVER SWITCH (トークオーバースイッチ)

このスイッチを押すことにより、マイク以外のすべてのソースのレベルがミュートされ減少します。

5. SPLIT CUE SWITCH (スプリットキュースイッチ)

このスイッチをONにすると、ヘッドフォンのLchでCUE SELECT SWITCH(13)で選択した信号をモニターすることが出来ます。Rchでは常にMASTER OUTの信号をモニターすることが出来ます。OFFにすると、CUE SELECT SWITCH(13)で選択した各信号をヘッドフォンの両耳で聞くことが出来ます。(ステレオモニター)

6. HEADPHONE LEVEL (ヘッドフォンボリューム)

ヘッドフォンのモニターレベル(音量)の調整ボリュームです。

7. HEADPHONE JACK (ヘッドフォン端子)

このジャックにヘッドフォンを接続して下さい。8~600ohmのインピーダンスまで使用可能です。適正インピーダンスは150ohmです。

8. INPUT SELECT SWITCH (入力ソース選択スイッチ)

各PGMにどの機器の信号(音声)を入力するかを選択するスイッチです。各フェーダー毎にリアパネルに接続された2つのステレオ入力ソースのうち1つを選択出来ます。プログラムは次のように設定されています。

PGM1... PHONO1, LINE1
PGM2... PHONO2, LINE2
PGM3... PHONO3, LINE3
PGM4... LINE4, LINE5

PHONO入力にはRIIA規格のイコライザーが入っています。ターンテーブルはPHONO端子に接続して下さい。LINE入力にはCDプレイヤー、カセットデッキ、MDプレイヤー等の出力を接続して下さい。

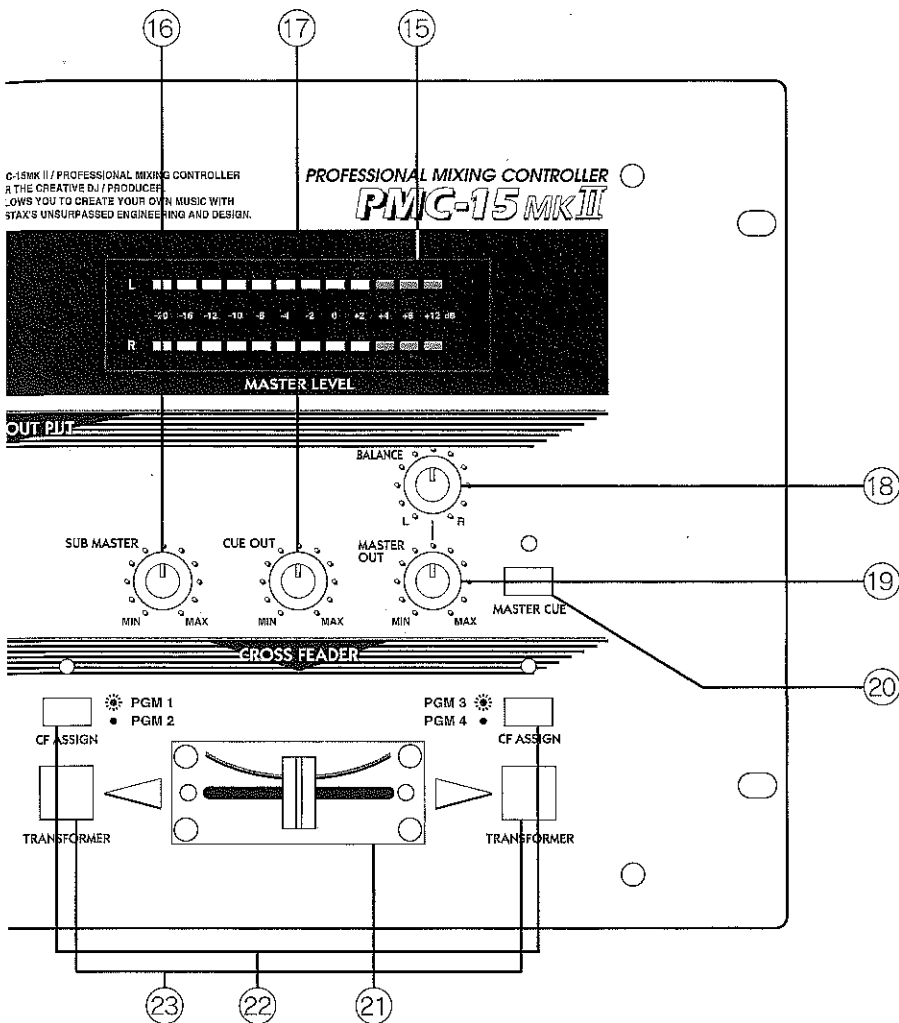
注意: PHONO入力にはMMタイプのカートリッジのついたターンテーブルを接続してください。MCタイプのカートリッジをご使用になる際は専用のヘッドアンプが必要になります。又、PHONO入力端子にはターンテーブル以外の機器を接続しないで下さい。ターンテーブル以外の機器を接続すると内蔵のフォノイコライザーが破損する恐れがあります。

9. GAIN VOLUME (ゲインボリューム)

各チャンネルの入力レベルを調整するためのボリュームです。インプットフェーダーとマスターボリュームを7~8の位置にセットした際にピークレベルメーターのLEDが0dBぐらいまで点灯するように合わせて下さい。

10. INPUT EQ-HI (高音補正用ボリューム)

高音補正用のボリュームです。20kHzにて+6dBブースト、-24dBまでカット出来ます。



11. INPUT EQ-MID (中音補正用ボリューム)

中音補正用のボリュームです。1kHzにて+6dBブースト、-24dBカット出来ます。

12. INPUT EQ-LOW (低音補正用ボリューム)

低音補正用のボリュームです。80Hzにて+6dBブースト、-24dBカット出来ます。

13. CUE SWITCH (キュースイッチ)

このスイッチをONにするとヘッドフォンでそのチャンネルの音声をモニターすることが出来ます。複数のチャンネルをONにすると同時にモニターすることが可能です。

14. INPUT FADER (インプットボリューム)

各チャンネルの音量調整ボリュームです。通常は7～8の位置でお使い下さい。

15. PEAK LEVEL METER (ピークレベルメーター)

マスター出力のLch,Rchの出力を表示します。

16. SUB MASTER OUTPUT LEVEL (サブマスター出力レベル調整ボリューム)

リアパネルのSUB MASTER OUT JACK(29)から出力される信号のレベルを調整します。

17. CUE OUTPUT LEVEL (キューレベル)

CUE OUT端子(31)より出力される信号のレベルを調整します。

18. MASTER BALANCE (バランス)

MASTER OUT出力のLチャンネルRチャンネルのバランスを設定します。

19. MASTER OUTPUT LEVEL (マスターレベル)

リアパネルのMASTER OUT JACK(BALANCE,UNBALANCE共用)から出力される信号のレベルを調整します。

20. MASTER CUE SWITCH (マスターキュースイッチ)

このスイッチをONにすることによりヘッドフォンでマスターアウトの音声をモニターすることが出来ます。

21. CROSS FADER (クロスフェーダー)

クロスフェーダーアサインスイッチ(22)で選択した各PGMの入力ソースをミックスするためのフェーダーです。左側にスライドさせると左側にアサインした音声が入力され、右側では右側の音声が入力されます。中央では左右両方の音声が入力されます。

注意:クロスフェーダーを動かした際にノイズが出るようになったときは、クロスフェーダーが消耗しています。別売りの交換用フェーダー-CF-R(¥4,000)と交換して下さい。

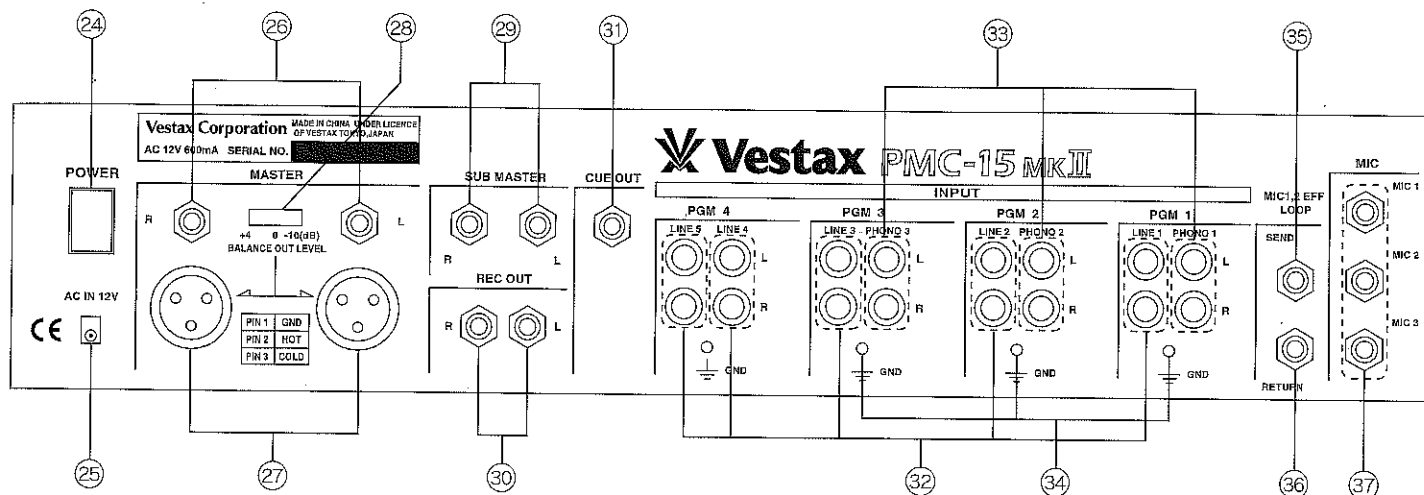
22. CROSS FADER ASSIGN SWITCH

クロスフェーダーの左右にどのプログラムの音声が入力されるかを設定するスイッチです。クロスフェーダーの左にはPGM1と2のどちらかを、右側にはPGM3と4のどちらを設定します。

23. TRANSFORMER SWITCH

クロスフェーダーを左側、または右側に振り切った際に反対側(クロスフェーダーが左なら右側の、右なら左側の)スイッチを押した場合その押した側の音声が入力されます。

REAR PANEL



24. POWER SWITCH

電源のON/OFFスイッチです。ONにするとフロントパネルのパワーLEDが点灯します。

25. AC POWER JACK

電源アダプターを接続するジャックです。付属のAC-12Aを接続してください。

26. MASTER OUT JACK(UNBALANCE)

マスター音声信号のアンバランス出力ジャックです。パワーアンプ等に接続して下さい。

27. MASTER OUT JACK(BALANCE)

マスター音声信号のバランス出力ジャックです。バランス入力を装備したパワーアンプ等に接続して下さい。ピン配置は1番グラウンド、2番ホット、3番コールドです。

28. BALANCE OUT LEVEL SWITCH

バランス出力の出力レベルを切り替えるスイッチです。+4dB,0dB,-10dBの3種類より選択できます。

29. SUB MASTER OUT JACK

サブマスターの音声出力ジャックです

30. REC OUT JACK

レコーダーへの出力端子です。マスターボリュームの位置に関係なく、一定のレベルが出力されます。テープデッキ、DAT、MD等の録音機器を接続して下さい。

31. CUE OUT JACK

CUEスイッチ(13)で選択された信号がモノラルで出力されます。

32. LINE INPUT JACK

CD、テープデッキ、MD等のライン入力用の端子です。

33. PHONO INPUT JACK

各PGMのターンテーブル用の音声入力端子です。使用されない際はシュートピンプラグを挿入することをおすすめします。シュートピンはオーディオ店等でご購入下さい。

34. GROUND TERMINAL

各PGMに接続したターンテーブルのアース端子とアース用ケーブルで接続してください。

35. MIC EFFECT LOOP SEND JACK

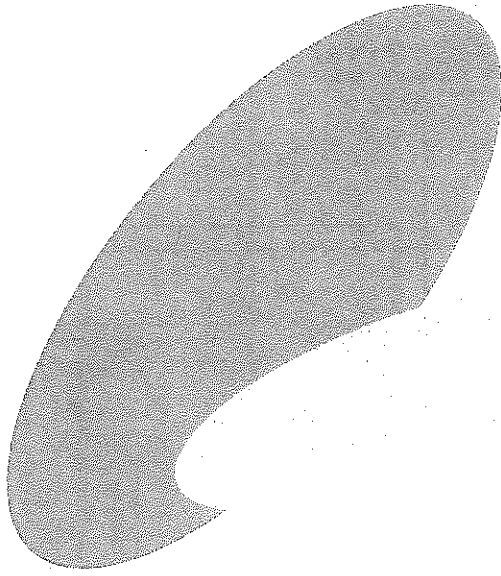
外部エフェクター接続用のマイク音声出力端子です。MIC1、MIC2に対応しています。エフェクターの入力端子と接続して下さい。

36. MIC EFFECT LOOP RETURN JACK

エフェクトされたマイク音声信号を入力する端子です。外部エフェクターの出力端子と接続して下さい。

37. MIC INPUT JACK

MIC1、MIC2、MIC3の入力端子です。



PMC-15MKIIの主な仕様

定格入力レベル/インピーダンス	PHONO	-42dB/47k Ω
	LINE	-10dB/30k Ω
	MIC	-42dB/42k Ω
定格出力レベル/インピーダンス	PHONO	-4dB/10k Ω 以上
	LINE	-10dB/10k Ω 以上
	MIC	-10dB/10k Ω 以上
周波数特性	20Hz-20kHz (+0,-3dB)	
S/N比	-80dB以上	
外形寸法 (W×H×D)mm	482×91×220 (EIA 5Uサイズ)	
重量	5 kg	

Vestax Corporation